

2021年1月発行

管楽器リペア 研究科 取材レポート！



私達が取材しました！

管楽器リペア科1年生 松田

小栗

後藤

☆研究科の魅力☆

研究科とは？

管楽器リペア科を卒業した後、更なるステップアップを目指すことができる進路です。現在、管楽器市場では、より専門的なスキルを併せ持つ人材の需要が増えてきました。その需要に応えるために、研究科ではダブルリード楽器や打楽器に加え、更なる技術の追求をしています。



現場実践を 意識した授業！

企業の第一線で活躍されている講師陣に教わるので、技術習得以外にも業界の「今」や豊富な経験など、お話を聞くことができます。卒業後、就職した際に即戦力になれるように、研究科の授業は実際の修理工房を意識して行われています。



講師によるきめ細やかな指導！

3つの特徴

ダブル
リード
や打楽器

少人数

課題探求
できる
環境

オーボエやファゴットの修理や海外メーカーの楽器修理も学ぶことができます！

例)
H.Selmer (Sax.)
Alexander (Hr.)

奥深いところまで講師から教わることで、より密度の濃い授業を受けられます！

例)
希望の楽器を対象にし、自分だけの課題が与えられる。

コアな内容の研究ができます！

例)
オーボエのトーンホールを設計・製作し、音色の違いを研究



本格的な機械類も完備

講師陣をご紹介します♪



佐場野先生
管楽器工房Geppett
2009年創立(長野)

木管楽器の修理・製作を行う工房を経営。パーツ製作も行う本格的な工房。



谷口先生
管楽器専門店ウィンズラボ
1994年設立(富山)

管・打楽器の修理・販売を行い、国内外の楽器を取り扱う専門店を経営。



野島先生
FMCフルートマスターズ
1992年設立(静岡)

フルートの修理、製作を行う専門店を経営。高い技術力で知られる。

みんな知りたい！Q&A

先輩方に聞きました！

Q1. 研究科に進学した理由は何ですか？

- 「地元で独立して工房をもつ」という夢があるため、研究科で講師の方々からメーカー別の修理の方法も学んでおきたいと思いました。(菅野先輩)
- ただ音が鳴るように修理するのではなく、「どう手を加えるとどのように音に違いが出るのか」について研究したく、進学しました。(伊豆先輩)



岡田先輩

菅野先輩

伊豆先輩



Q2. 研究科の学びで得たものは？

- 楽器との向き合い方が変わりました。実習楽器だとしても「いかに愛情をかけて接するか」を考えるようになりました。(岡田先輩)
- 言葉通りの「修理」をするだけではなく、「どんな楽器に仕上げたいのか」と目標に具体性を持つようになりました。(菅野先輩)

☆研究科の授業風景☆

佐場野先生の授業



設計図も見せて
いただきました！



サクスの「サムレスト」を
製作しました。
既製品をモデルにして、一枚の
金属板から作り出します。
(菅野先輩)



打楽器のティンパニは
ヘッド（叩く部分）を
取り外して修理します。

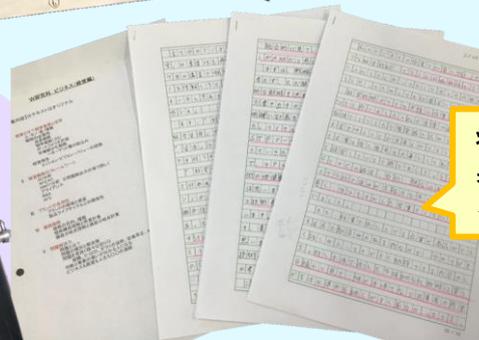


分解されてまるはだかの
オーボエです！「ト
ーンホール」（指で押
さえる穴）も僕が作り
ました！

(岡田先輩)



将来は独立をして、自
身の工房を持つための
ノウハウも学べます。



学校法人 中部学園（職業実践専門課程認定校）

中部楽器技術専門学校

CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6

フリーダイヤル



0120-856-854

TEL:052-741-6788 学校案内無料送付中

URL:www.chubugakki.ac.jp

